



第39回 体育大会終了！！

5月19日（日）、絶好の天気にも恵まれ、体育大会を実施することができました。

来賓、地域、PTA、保護者の皆様には、御多用中にも変わらず御来校いただき、多くの声援や拍手をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

開会式では山口体育委員長が、「最高の体育大会を目指します」と堂々の選手宣誓を行い、競技がスタートしました。

生徒たちはそれぞれの競技で、学級やブロックの優勝のために、持てる力を全力で発揮していました。その真剣な顔は美しく、光り輝いていました。誰かのために、自分のために真剣に全力を尽くすことは、「恥ずかしいことではなく、当たり前なこと」だということを、生徒たちの真剣な表情や、やり終えた達成感からくる笑顔から改めて感じ取ることができたのではないのでしょうか。

また、競技だけではなく、係活動にも一生懸命取り組んでいました。自分の役割に責任をもつことの大切さ、そして、誰かが陰で支えてくるお陰で、自分たちが楽しむことができるということを学んでくれたのではないかと思います。

「おもしろかった」「楽しかった」「思い出に残った」と思うことは誰にでもできます。振り返りを行い、この体育大会の経験と体育大会で学んだ「友を信じ、敬い、自分たちの考えをぶつけ合い、心を一つに目標に向い協力・協働して動く『考動』」を今後の学校生活に生かし、更に成長してほしいと願っています。

3年生 完全燃焼の大中ソーラン

約3週間の練習期間において、一番頑張りを見せていた3年生。

各ブロック、リーダーを中心にソーラン節のオリジナルダンスを考え、1・2年生に優しく教える姿が見られました。

3年生も、昨年まで上級生から指導を受けながらソーラン節を踊ってきました。教えられたことをそのまま教え伝えるのではなく、「アップデート」しながら、教え伝えることで「大中魂」が引き継がれていきます。

3年生の気迫のこもった、そして笑顔あふれるソーラン節を見て1・2年生は何を感じ取ってくれたのでしょうか？ぜひ、感じ取ったことを、次年度に引き継いでほしいと思います。

